

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学 : ヴェネツィア大学

留学先での所属学部・研究科 : 経済学部

留学先での在籍身分 : 交換留学生

留学期間 : 2016 年 9 月 ~ 2017 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学部

学年（出発時） : 3年生

本報告書記入日 : 2017 年 7 月 8 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 9 月 11 日

学年終了月日 : 6 月 24 日

学期 :

① 9 月 11 日 ~ 1 月 27 日

② 2 月 7 日 ~ 6 月 24 日

③ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

④ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

アジア系言語の学部が強く、特に日本語学科はイタリアで一番と言われています。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

CLAという語学学校を紹介してもらいました。

勉学面でのサポート :

Welcome Unitという留学生のためのオフィスがありました。

精神面でのサポート :

特になし

住居・生活面でのサポート：

Housing OfficeやAccommodationで寮を紹介してくれます。

課外活動のサポート：

特になし

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい

いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

私はGiudeccaという島にあるJunghansという寮に住んでいましたが、共用キッチンには電子レンジ、冷蔵庫、ポットしかなく、Wi-Fiもないで全て揃えるか本当の寮にした方がいいと思います。また、Facebookで家探しができるサイトがあるので時々チェックするのもいいと思います。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

学研災付海外留学保険（「付帯海学」）（神戸大学指定の保険）

また、上記以外で加入した保険があれば、ご記入ください。（留学先の国・大学が義務付けている保険等）
なし

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：■日本から持参した □現地で購入した □保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：□接続できた ■接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮にWi-FiがないのでポケットWi-Fiを購入しました。初期投資が一万円、月々3500円くらいでした。

大学でのPCの使用の可否：□使用できた □使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

大学の図書館で使えました。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通いませんでした。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

蚊が多いのと、環境に慣れるまでは体調を崩しやすいので気をつけてください。

3-4. 銀行口座等について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。
(現地で口座開設、キャッシュレスポート利用等)

クレジットカードを2枚用意しました。現地では口座開設しませんでした。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

電車やバスの中で電話、公共交通機関の遅れ、夕食の時間、アペリティーボの習慣など

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

寮のレセプションの人や毎回使うお店の店員さんなど

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

ローマ日本文化会館のインターンシップに参加しました。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

とても安全ですが、観光地なので人が多く、生活費が他のイタリアの地域より高いです。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

していません。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) 日本学生支援機構, 8万 円／月

その他（渡航費等の支給）_____円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

地球の歩き方、アーモイタリア

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

日本食、日本で使っていた参考書

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（イタリア語A2） 点 → 帰国後（イタリア語B1） 点

語学力の向上、卒論のテーマの明確化

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

隣人トラブルです。深夜に訪ねてきたり、文句を言われたりして4回も引越ししました。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

上記のトラブルの際も早急にアドバイスをいただけて本当に感謝しています。また、その他にも疑問や不安にすぐに対応していただけたので、快適に過ごせました。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。様々なトラブルもありますが、自分を見つめ直すことができますし、日本で学べないことを学べると思います。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 2
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

留学先大学：ヴェネツィア大学

留学先での所属学部・研究科：経済学部

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2016年9月～2017年6月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部

学年（出発時）：3年生

本報告書記入日：2017年7月8日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	CONTEMPORARY HISTORY OF VENICE	Gilda Zazzara	150分	6	50	きちんとノートをとっていればテストは難しくないと思います。
2	ITALIAN FOR FOREIGNERS	Francesca Ardizzone	150分×2	6	30	最初の6週間だけ週3回授業があります。イタリア語で説明されるので最初は難しいですが、テストはそんなに難しくなかったです。
3	LINGUA GIAPPONE1MOD.1	Patrick Heinrich	90分	12	40	毎回論文を読み、ディスカッションしました。
4	ITALIAN FOR FOREIGNERS	Elena Ballarin	150分×2	6	30	宿題は毎回出ますが、きちんとやっていなければいけます。
5	HISTORY OF ITALIAN DESIGN	Martino Pietropoli	150分	6	30	テストはプレゼンでした。
6	GEOGRAFIA DEL TURISMO	Cavallo Federica	90分×3	6	60	イタリア語ですが先生がとても優しいです。授業についていくのは大変でしたが、留学生はオーラルのテストしてくれました。
7	STORIA DELLA FILOSOFIA E DELLE RELIGIONI DEL GIAPPONE2	Raveri Massimo	90分	6	60	イタリア語なので授業を録音したりした方が良いです。
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

現地学生は授業中に積極的に質問していました。留学生向けの授業も用意されていました。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃：13万5000円

・住居費：(月額) 4万円 × (留学月数) 10ヶ月 = 40万円

・食費：(月額) 2~3万円 × (留学月数) 10ヶ月 = 20~30万円

・保険料：10万円

・その他：

合計：200万円 (留学期間全体の費用)

その他　自由に記入してください。(800字~)

私は大学入学時は留学に行く予定はありませんでした。しかし、大学一年生の春にEU研修というものに参加し、初めてヨーロッパに渡りました。その時に、自分の「当たり前」が客観的なものではなく主観的なものだということに気づき、もっと新しい世界を知りたいという気持ちが大きくなりました。また、その時に行ったイタリアのヴェネツィアが観光業による負の遺産として環境問題に苦しんでいると知り、ここで一年間学びたいと思いました。二年生になってからイタリア語を勉強し始め、夏くらいに両親に相談し、交換留学に行くことを決めたので、他の交換留学生の方より出遅れてしまいました。しかも、ヴェネツィア大学は全学協定だったので、語学の基準があり、どうしてもイタリア語では越えられないと思ったので、イタリア語をコツコツ続けながら英語に力を入れてなんとか基準を満たしました。だから、留学を少しでも考えている人は早めに準備を始めた方がいいです。でも、私みたいに遅くても最後まで諦める必要はないので、ぜひ挑戦してみてください。実際に留学に行ってみるとイタリア語がどれほどできないか痛感しました。当たり前ですが、全てイタリア語なのでスーパーに行くにも、寮のレセプションのおじさんに話すにも辞書が必要でした。コミュニケーションもままならないのは辛いのでしっかり現地の言葉を勉強してください。あとは滞在許可証にも苦しめられました。今となってはバディの友達と笑い話ですが、本当に大変でした。申請に行っても、郵便局の人がよくわかってなかったり、人によって請求される金額が違ったり、申請から受け取りまで7ヶ月かかったりと様々な困難がありました。職員の方に頼るのではなく、自分で調べてから行くのがいいと思います。その他にも、隣人トラブルがあつたり、電車のトラブルがあつたりと留学中何度もトラブルがありました。しかし、イタリア人の友達はとても面倒見が良く、いつも助けてくれました。だから、まずは積極的に日本語クラスのお手伝いに行ったりして、良い友達を見つけると良いかなと思います。良いことも悪いこともありますが、必ず自分にとってプラスになると思うので、ぜひ学生のうちに挑戦してみてください！